

医療センターニュース



特集／中央検査部

若手臨床検査技師 インタビュー
**患者様に寄り添う
医療の提供**

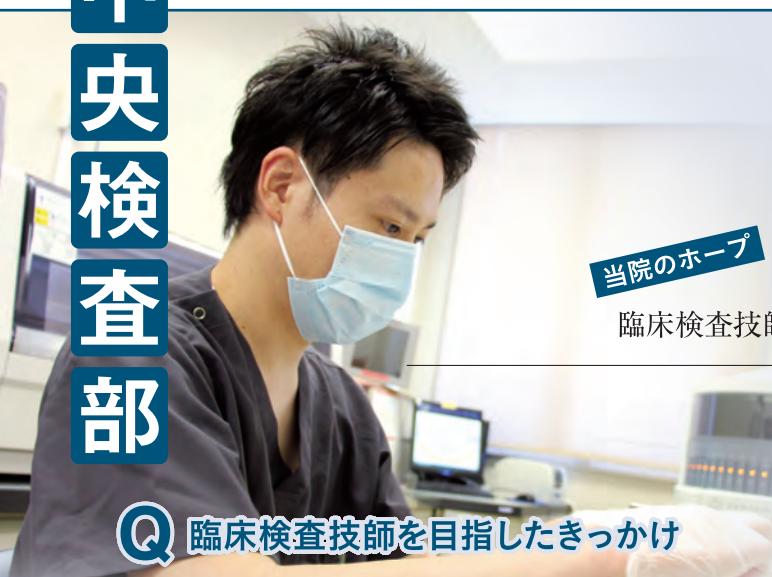
廣森検査技師長

news

呼吸器内科 緩和ケア外来開設
令和3年度 TQM活動について

中央検査部では、さまざまな検査で患者様の身体を調べ、病気の有無や病状などの情報を得る役割を担っています。最近では、PCR検査の需要も高まり、注目が集まっています。

直接患者様と接する機会は少ないですが、患者様に適切な治療を提供するための検査を担っている臨床検査技師について紹介いたします。



当院のホープ
臨床検査技師

前田 隆平

(当院:6年目)



連携して患者様の治療にあたっています。

Q 臨床検査技師を目指したきっかけ

A 実は高校生までは“部活動のために学校に行っていた”と言っても良いくらい、部活動に明け暮れていきました。引退後、いざ進路を決めようと考えていた際、新聞で「顕微鏡でがんを見つける」というニュースをたまたま見かけて、かっこいいと思ったのがきっかけです。

Q 三重県立総合医療センターに入社した理由

A 部活動でバレーボールをしていたのですが、大学生のときに友人から当院のバレーボールクラブに誘われ、自分もさせてもらいました。そこで交流したスタッフの方々に憧れて、三重県立総合医療センターを就職先として選びました。当時は、就職についてのアドバイスなどもいただき、とても助かりました。



Q やりがいを感じる瞬間は?

A 「細胞検査士」という資格を取得したことは、やはり大きな成長だと感じています。経験年数も浅く、諸先輩方と比べるとまだまだできていないこともあると思うのですが、経験を積んで自分の責任をしっかりと全うしていきたいです。

※細胞検査士…細胞診により正常な細胞から、がん細胞を見つけ出す仕事。

Q 今後の目標や夢

A 資格はとりましたが、さらに腕を磨いて、先輩達に追いつきたいです。学会発表や論文なども興味があるので、今後はそういったことにも取り組みたいです。



さまざまな部署が支え合い、



当院のホープ

臨床検査技師

泉原準也

(当院:3年目)

Q 臨床検査技師を目指したきっかけ

A 家族が看護師をしており医療職は身近に感じていました。自分は野球をしていたこともあり、身体に直接関われるリハビリ職に関心を持っていました。しかし、「臨床検査技師の方が、性格に向いていると思う」と勧められ、自分のことを理解してくれる家族の一言でやってみようかなと思い、目指したのがきっかけです。

Q 三重県立総合医療センターに入社した理由

A 以前は愛知県の病院で臨床検査技師として勤務していました。結婚を機に転居することになり、新たな職場を探していたところ、知人が三重県立総合医療センターで働いていたことがきっかけです。病院によって同じ検査でも方法は異なるので、いろんな経験をさせてもらっていてありがとうございます。

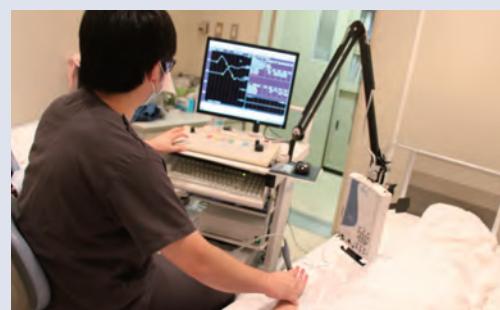


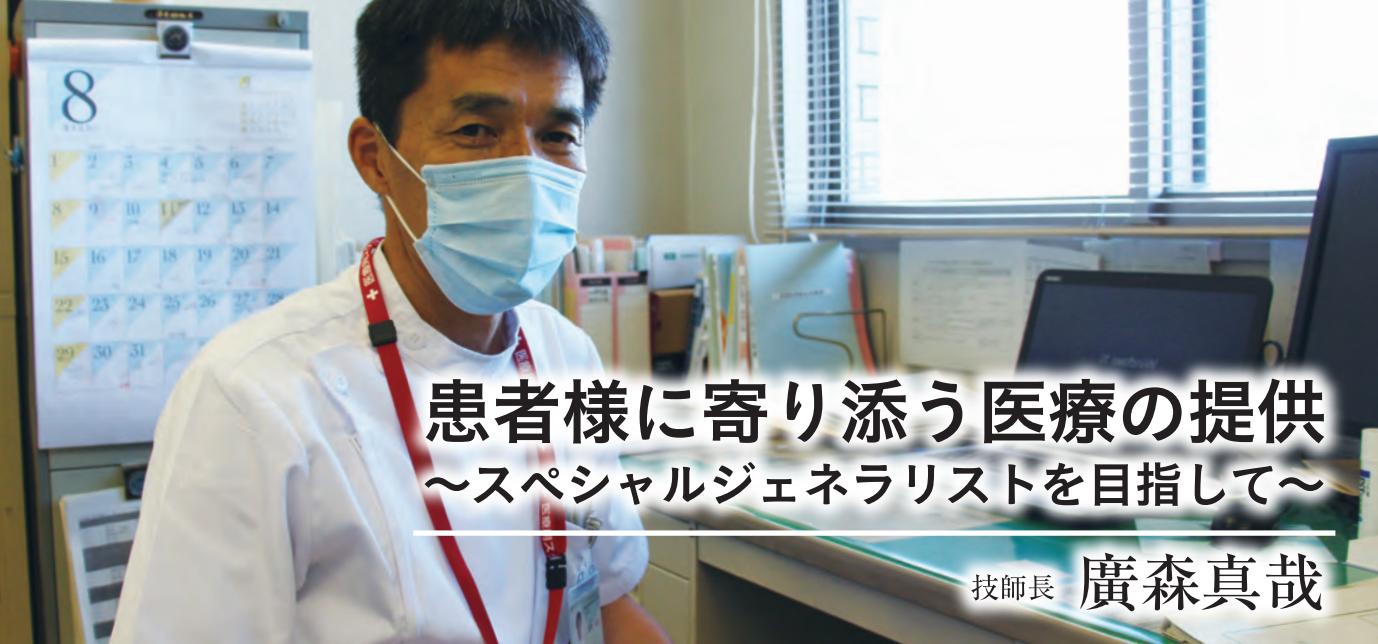
Q やりがいを感じる瞬間は?

A 元々は仕事としてどんなことをするのか理解せずに目指していたので、たくさんの人と出会い、いろんなことを教えていただくことです。とても刺激を受けています。臨床検査技師として、何ができるのか、何が必要なのか、これからも考え続けていきたいです。

Q 今後の目標や夢

A 現場に入ってからは、意識が大きく変わりました。医療従事者の仕事は、患者様がいることから始まります。患者様のことを第一に考えて、検査という仕事に向かってみたいと思っています。





患者様に寄り添う医療の提供 ～スペシャルジェネラリストを目指して～

技師長 廣森真哉

県立病院ならではの検査業務の特徴

公立病院の役割として、社会を脅かす事故や病気あるいは自然災害の発生時には、他の医療機関に先駆けていち早い対応が求められます。

当院は救命救急センター、周産期母子センターを併設し、地域医療支援病院、エイズ治療拠点病院、感染症指定医療機関病院、基幹災害拠点病院でもあるため、それぞれの使命から、検査部に求められる検査は多種多様になります。そしていかなる時も、迅速で正確な検査結果を提供し、緊急時にも適切な医療を皆様に受けていただけるように努力しています。

コロナ禍においての検査

新型コロナウイルスの蔓延前と現在を比べると、検査件数に多少の変化が見られます。新型コロナウイルスに対応するために昨年(2020年)8月より抗原定性検査を始め、現在は抗原定量検査とPCR検査を24時間対応で行っていることにより、検査件数が増加したと考えます。

目指す検査技師像

スペシャリストとジェネラリストという言葉があります。スペシャリストとは専門家を意味します。

私たち臨床検査技師は臨床検査のスペシャリストであると自負しております。

しかしながら、臨床検査には様々な分野があり、

それぞれの分野において資格(細胞検査士や認定輸血検査技師、感染制御認定臨床微生物検査技師など)があります。各分野の専門的な知識と技術を身につけ、さらなる資格を得てスペシャリストになることが、精度の高い検査の実施につながります。

また、ジェネラリストとは全体を把握して、実行動に活かすことができる人を意味していると思います。臨床検査技師には、多岐にわたる検査の全体を見渡し、患者様から得られた様々な検査データをより迅速かつ正確に医師等に提供することで、チーム医療に貢献していく使命があると考えます。

つまり、私が考える検査技師像とは、『ジェネラリストであり、かつスペシャリストである』ということになります。その実現のために、日々の努力を惜しまず、患者様に寄り添って、迅速で正確な検査結果を提供できるように引き続き尽力して参ります。

現在の課題

医療の進歩とともに検査も変化し続けています。近年では、遺伝子情報を利用、応用した検査も増え、専門性の向上が求められています。この変化に柔軟に対応していくことが今後の課題と考えます。

検査の一覧

検体検査

血液や尿、その他穿刺液(胸水や腹水等)に含まれている成分や細胞形態を調べる検査。生化学検査、免疫血清検査、薬物濃度検査、血液検査、輸血検査、一般検査など。



生理検査

脳波などの脳神経系の検査、肺活量などの呼吸器系の検査、心電図などの循環器系の検査があり、臨床検査技師が様々な検査機器を用い、直接患者様に触れて、身体の生理現象を波形や画像として記録します。



細菌検査

感染症(食中毒、髄膜炎、肺炎など)の疑いがある患者様の検体(喀痰、尿、便、血液、髄液、膿など)から原因となる細菌を見つけ、どの薬(抗生物質)が効くのかを調べる検査。またインフルエンザウイルスなどのウイルス迅速検査や、遺伝子を利用した感染症の原因菌を調べる検査。

病理検査

手術材料などの病理組織検査、細胞診検査、術中迅速検査があり、その他病理解剖も行います。

1 エアシューターによって採血室や各病棟から速やかに検体が届きます。

2 検体の情報をコンピューターに取り込み、機械を通して検査を進めます。
生化学検査、免疫血清検査など。



3 分析した数値のチェックを行い、医師へ報告するデータ資料を作成します。

異常な数値が出た場合でも、薬の副作用など理由が明らかな場合もあれば、病気を発症している場合、または機械の故障の可能性はないかなど、一人一人のカルテを見ながら数値の確認を行います。



災害時でも、必要な検査ができるように手動で検査を行うためのマニュアルや試薬、また通常よりも少ない水で検査が行える機械なども用意しています。

輸血が必要な時は、輸血検査を行い患者様に適合する血液製剤を調べます。24時間体制で対応し、安全かつ迅速な輸血を提供します。

ギモン 血液検査では、なぜ何本分も血液を採取されるの?

検査項目によって、検査の処理が異なるため複数採取をしています。



ギモン 1日どれくらいの検査をしているの?

約350～500本、多い時は600本もの検体を検査しています。



News & Event

News

緩和ケア外来の開設

当院の呼吸器内科 児玉秀治先生が緩和ケア外来を開設しました。

緩和ケア外来とは、がんに伴う身体と心の痛みを和らげ、生活やその人らしさを大切にし、つらさを抱えた患者様とご家族を支えていく医療のことです。患者様に安心して治療・療養を継続して頂けるようにケアを行っていきます。

当院の他の診療科を受診している患者様はもちろんのこと、地域医療機関で治療を受けられている患者様でも緩和ケア外来を希望される場合は受診して頂くことができます。まずは、かかりつけ医にご相談ください。

日 時 毎週金曜日9時～11時(完全予約制)

担当医師 児玉 秀治(呼吸器内科)

受診方法

●当院通院中の患者様

主治医に緩和ケア外来の受診希望の旨をご相談ください。

●当院を受診されていない方

現在受診しているかかりつけ医にご相談ください。かかりつけ医より当院地域連携課(かけはし)を通じて受診予約をお取りすることができます。

News

令和3年度 TQM活動について



当院は質の高い医療の提供や業務の効率化のために、各部門が独自に改善活動を行っており、年1回の院内発表大会などを実施しています。この改善活動(TQM活動)は平成16年度に活動を開始して、本年度で18年目を迎えます。

令和2年度の院内発表大会で準優勝の3階西病棟サークル「ぞうさんリレー」は、「みんなでまわそう!お風呂の順番～Let'sスムーズな入浴～」という題目で、小児患者様のスムーズな入浴のための業務改善に取り組みました。そして、令和3年度に次のステージとなる院外のQCサークル東海支部三重地区開催の青葉大会で知事賞を受賞(同医療センターニュースNo.86で紹介済)し、今回はQCサークル東海支部開催のチャンピオン大会で支部長賞優秀賞を受賞しました。

今回の受賞は、当院の改善活動の取り組みが院内のみならず院外でも認められた結果であり、この取り組みを含め、今後も継続して改善活動に取り組みます。

※TQM活動(Total Quality Management)とは全体(Total)で、医療・サービスの質(Quality)を継続的に向上させる(Management)です。

休診のお知らせ

令和3年11月1日現在

皮膚科

■12月 3日(金)

三重県立総合医療センター
<https://www.mie-gmc.jp/>

検索

都合により変更する場合
がありますので、最新の情
報をホームページ・お電話・
メールにてご確認ください。



外来診療医師担当表

令和3年11月1日(月)現在

診療科		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合内科	初診	牧野／森谷	西田	山田	小林	柴田
	初診・再診	感染症外来 白木	血液・血栓外来 和田	白木	消化器内科(再診) 白木	循環器内科(再診) 牧野
消化器内科	初診	森谷／菅	井上	山中／水谷	西浦／島田	川崎／中澤
	再診	井上	森谷	菅	山中	西浦
	再診	島田	水谷	川崎	中嶋	腫瘍内科 斎藤
循環器内科	初診	増田	加藤	増田	林	岡崎
	再診	加藤	中澤	谷垣内	牧野	増田
	再診					林／山田
※総合内科月曜日の1診は、牧野が第1週・第3週・第5週を担当し、森谷が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科月曜日の3診は、森谷が第1週・第3週・第5週を担当し、菅が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科水曜日の3診は、山中が第1週・第3週・第5週を担当し、水谷が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科木曜日の3診は、西浦が第1週・第3週・第5週を担当し、島田が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科金曜日の3診は、川崎が第1週・第3週・第5週を担当し、中澤が第2週・第4週を担当します。						
呼吸器センター	初診	吉田(紹介診)	吉田(紹介診)	藤原	寺島	児玉*
	再診	後藤(初診)	伊藤(初診)	児玉	伊藤	三木
		寺島		後藤	吉田	藤原
※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時～11時(完全予約制)						
消化器・一般外科	1診／毛利	1診／担当医	1診／尾嶋	1診／毛利	1診(午前)／担当医	
	2診／尾嶋		2診／水越	2診／辻浦		
	3診／伊藤		3診／諸戸			
小児外科		2診／内田				
乳腺外科	予約診／ 野呂(1・3週)／ 山下(2・4・5週)	3診／山下		3診／山下	2診／野呂	
形成外科			2診／相野／石浦			
※第1週目は休診です。 ※相野が最終週以外を担当し、石浦が最終週を担当します。						
心臓血管外科／呼吸器外科	1診／近藤	1診／新保	1診／澤田		1診／澤田	
	2診／庄村	2診／鈴木			2診／田邊	
脳神経外科	1診／黒田	1診／後藤	1診／寺島	予約診／担当医	1診／梅田	
	2診／亀井				2診／亀井	
					午後予約制／ 脊椎脊髄外來	
脳神経内科	1診／伊藤	1診／伊藤	1診／掃部／伊藤	1診／堀江／柴田	1診／掃部	
		2診／掃部	2診／西垣	2診／柴田／堀江	2診／伊藤	
※1診が初診、2診が予約診です。 ※水曜日の1診は、掃部が第1週・第3週・第5週を担当し、伊藤が第2週・第4週を担当します。 ※木曜日の1診は、堀江が第1週・第3週・第5週を担当し、柴田が第2週・第4週を担当します。 ※木曜日の2診は、柴田が第1週・第3週・第5週を担当し、堀江が第2週・第4週を担当します。						
小児科	1診／杉山	1診／西森	予約／太田	1診／太田	1診／杉山	
	2診／山口	2診／太田	予約／杉山	2診／西森	2診／鈴木	
	3診／小林	3診／山口	予約／大森	3診／大森	3診／山口	
	4診／伊藤(道)	4診／小林	時間外・紹介／小林／西森／鈴木		4診／山下	
産婦人科	1診(午前)／大里(初診) 1診(午後)／母体胎児診断	1診／浪崎(初診)	1診／大里(初診)	1診／古橋(初診)	1診／河村	
	2診／古橋	2診／朝倉	2診／河村	2診(午前)／朝倉 2診(午後)／1ヶ月検診	2診／浪崎	
	3診／南	3診／秋山	3診／南	3診／たんぽぽ(助産師)外来	3診／朝倉	
	4診／たんぽぽ(助産師)外来			4診／リンパ浮腫ケア外来	4診(午前)／谷口	
整形外科	1診(午前)／北尾(紹介膝、肩)	1診(午前)／北尾(膝関節外來(再診))		1診(午前)／奥山(再診)	1診(午前)／奥山(紹介、初診)	
		1診(午後)／北尾(再診)		1診(午後)／奥山(再診)		
	2診(午前)／柿本(紹介、初診)	2診(午前)／服部佳生(紹介、初診)		2診(午前)／服部徹也(紹介、初診)	2診(午前)／担当医(リハ、初診)	
		2診(午後)／柿本(再診)		2診(午後)／服部徹也(再診)		
	3診(午前)／服部徹也(リハ、再診)	3診(午前)／柿本(リハ、再診)		3診(午前)／服部佳生(リハ、再診)		
		3診(午後)／担当医(再診)		3診(午後)／服部佳生(再診)		
皮膚科	1診／中西	1診／加古	1診／加古	1診／中西	1診／加古	
		午後／褥瘡回診	午後／手術			
泌尿器科	1診／神田	予約診／堀(男性外来)	1診／渡邊	1診／松浦	1診／筏井	
	予約診／松浦		予約診／神田	予約診／筏井	予約診／渡邊	
	予約診／渡邊		予約診／筏井		予約診／松浦	
※火曜日(男性外来)は、第1週・第3週・第5週のみ						
眼科	1診／佐宗	1診／佐宗(午後休診)	1診／佐宗	1診／佐宗	1診／佐宗	
耳鼻いんこう科	1診／鈴村	1診／鈴村	1診／鈴村	1診／鈴村	1診／鈴村	
精神科	1診／山下	1診／山下	1診／山下	1診／山下	1診／山下	
放射線科	1診／間瀬	1診／野本	1診／高田	1診／佐貫	1診／南平	

※都合により、変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認下さい。

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER
TEL.059-345-2321(代表)

— 三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

» 基本理念

- 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

» 基本方針

- 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

— 臨床研修基本理念・基本方針

» 臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

» 臨床研修基本方針

- 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
- 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
- チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
- 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
- 医療人としての倫理観を養成する。

編集：地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和3年5月／発行号

〒510-8561 三重県四日市市大字日永 5450-132

TEL. (059) 345-2321(代表) E-mail. sogohos@mie-gmc.jp URL. <https://www.mie-gmc.jp/>

表紙：中央検査部スタッフ 写真 [令和3年8月27日(金)撮影]

ホームページ



交通の
案内

